

株式会社東畑建築事務所 TOHATA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.	設計番号 20170253 一級建築士 NO. 286010 小柳 英治	作成日 2021.03 担当	種別/備考	工事名称 余熱利用施設建設工事 図面名称 矩計図 その5 縮尺 A1: 1/50 A3: 1/100	図面番号 A-029
	図面番号 A-029				

F-01	モザイクタイル張り	1/5	F-02	床用タイル張り	1/5	F-03	70-リッジ'床材直張り (接着工法)	1/5	F-04	コンクリート直均し仕上げ	1/5	F-05	モルタル、防水モルタル塗り	1/5	F-06	床材仕上げ(1)	1/5
			<p>敷モルタル：セメントペースト張り及び張付け面積の小さい場合 下地モルタル：上記以外</p>														
材種			材種・寸法			材種			目地			目地			仕上材		
寸法			工法			仕上											
F-07			F-08			F-09			F-10			F-11			F-12		
床材仕上げ(5) (乾式二重床)			カーペット敷き (全面接着工法・グリッパー工法)			見切目地			上框-A			ビニル幅木			モルタル幅木		
仕上材			カーペット敷			見切目地			材種・仕上			H寸法			H寸法		
H寸法			工法						H寸法						目地用ジョイナー		
W寸法			下地			増打寸法は、10mmとする			H寸法			目地幅			目地幅		
支持脚(既製品)の形状は参考とする			増打寸法は、10mmとする			増打寸法は、10mmとする			増打寸法は、10mmとする			増打寸法は、10mmとする			増打寸法は、10mmとする		
F-13			F-14			F-15			F-16			F-17			F-18		
ビニルシート幅木 (軽鉄下地壁の場合)			木製幅木(3)			ステンレス製幅木(1) (曲げ加工)			床材仕上げ(1) (ビニル系シート・防水有)			床材仕上げ(2) (ビニル系シート・防水有)			床材仕上げ(3) (ビニル系シート・防水有)		
H寸法			H寸法			H寸法			H寸法			H寸法			H寸法		
ジョイナー			木製幅木・仕上			ステンレス幅木			H寸法			H寸法			H寸法		
入隅処理			床仕上材			ジョイナー			特配外300mmとする			特配外300mmとする			特配外150mmとする		
F-19			F-20			F-21			F-22			F-23			F-24		
床材仕上げ(4) (タイル張・防水有)			床暖房用下地			排水溝			地業-A, B			地業-C			地業C		
H寸法			H寸法			H寸法			H寸法			H寸法			H寸法		
ジョイナー			断熱材			差			O印は軽圧を示す			O印は軽圧を示す			O印は軽圧を示す		
入隅処理			断熱材			受枠											
F-19			F-20			F-21			F-22			F-23			F-24		
床材仕上げ(4) (タイル張・防水有)			床暖房用下地			排水溝			地業-A, B			地業-C			地業C		
H寸法			H寸法			H寸法			H寸法			H寸法			H寸法		
ジョイナー			断熱材			差			O印は軽圧を示す			O印は軽圧を示す			O印は軽圧を示す		
入隅処理			断熱材			受枠											
設計番号			作成日			種別/備考			工事名称			図面番号					
20170253			2021.03			標準詳細図			余熱利用施設建設工事			A-030					
一級建築士 NO. 286010			担当			その1			縮尺			A1: 1/5					
小柳 英治						縮尺			A3: 1/10								

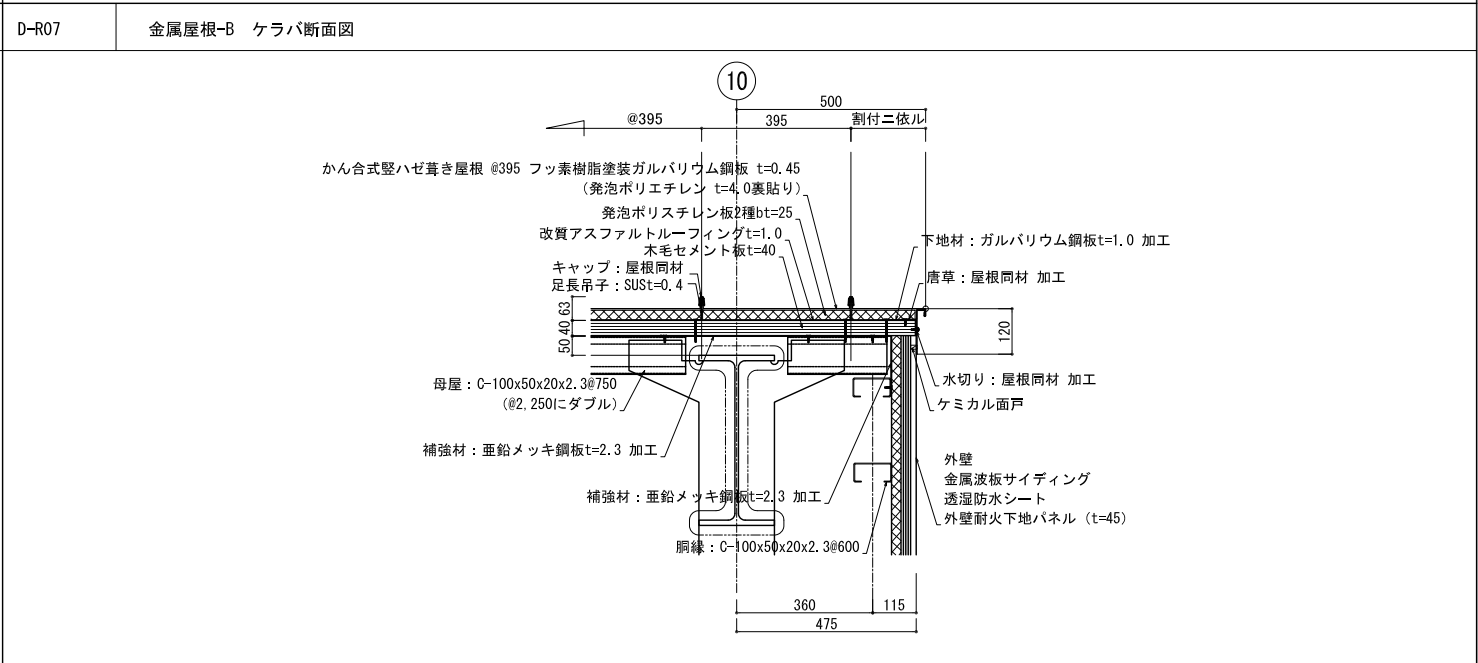
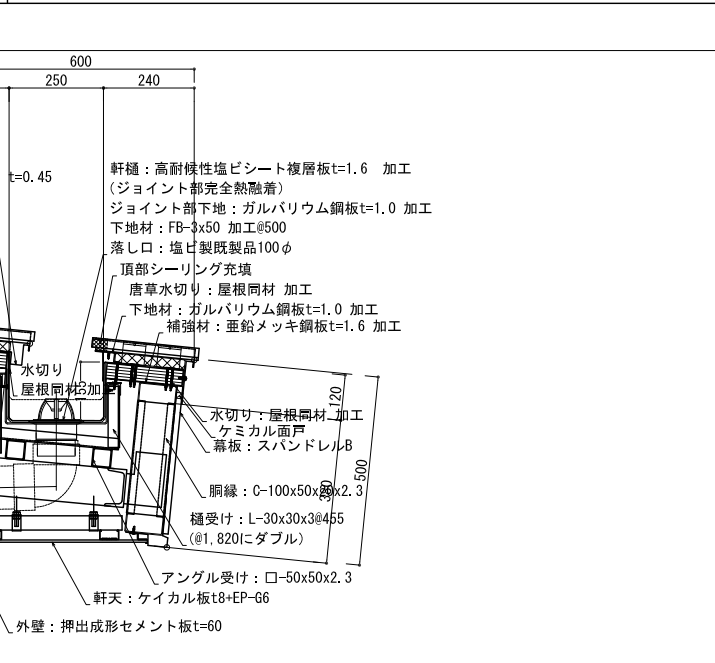
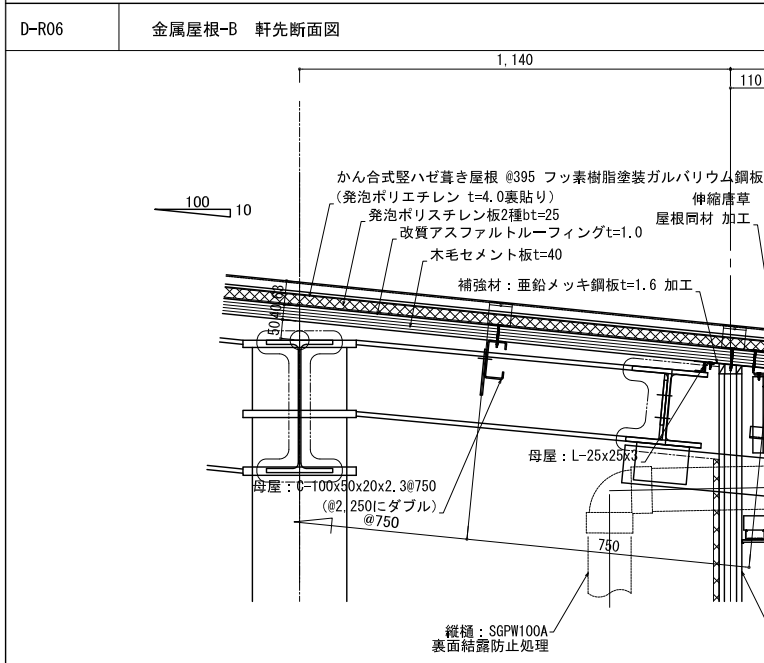
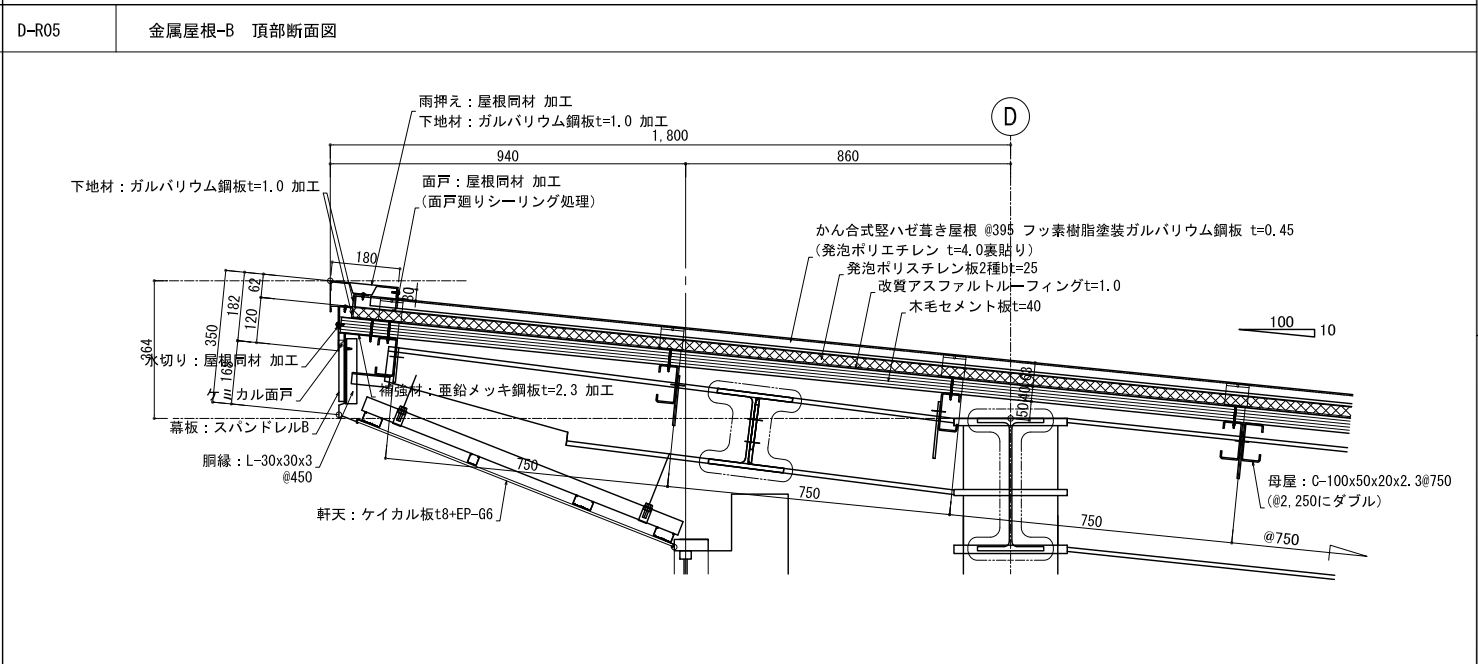
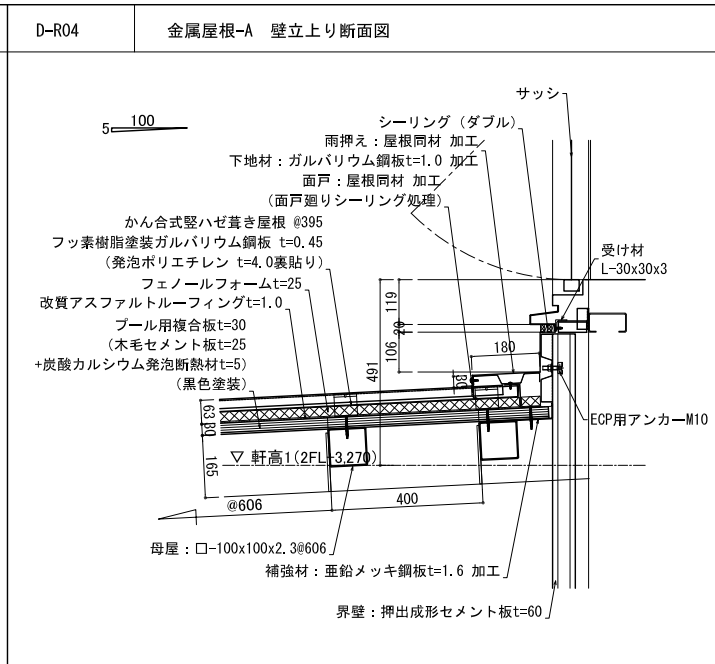
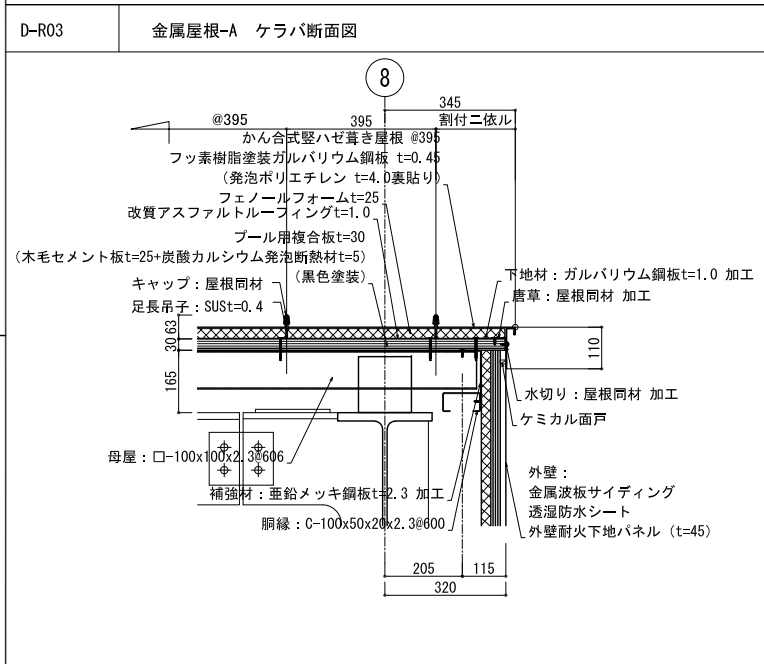
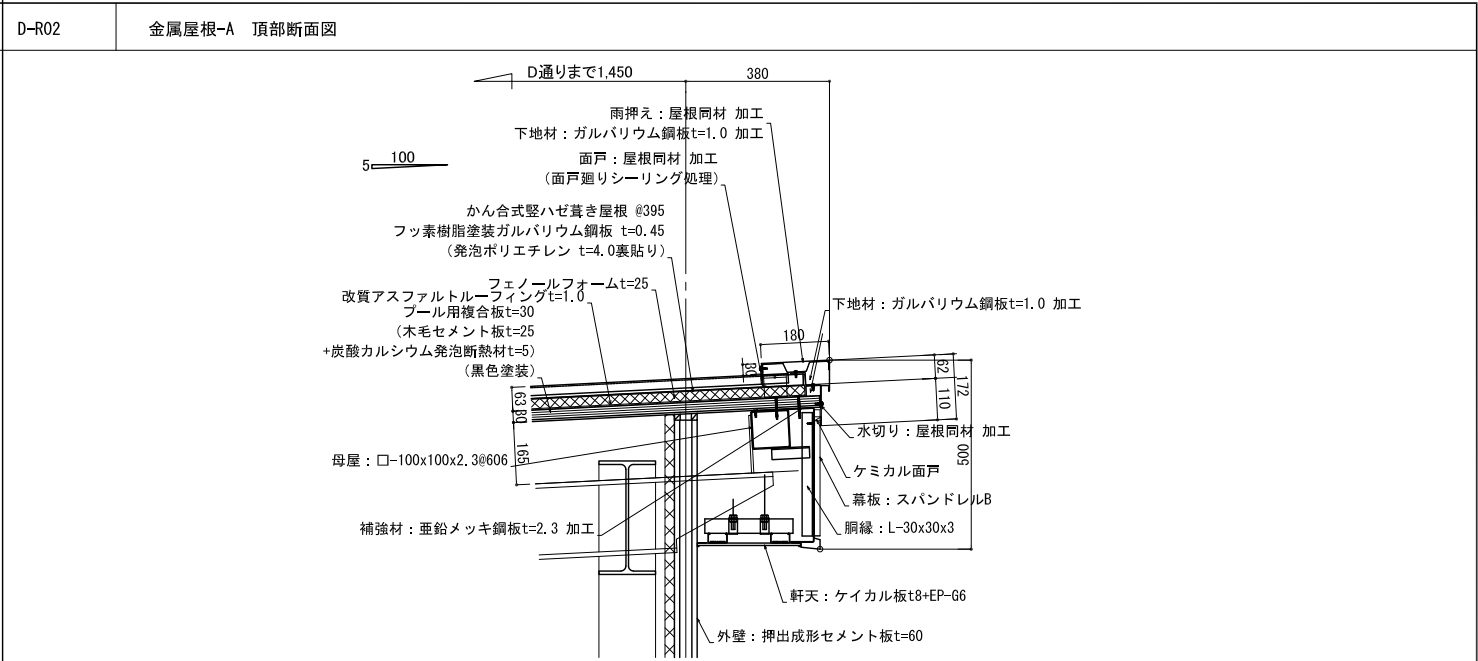
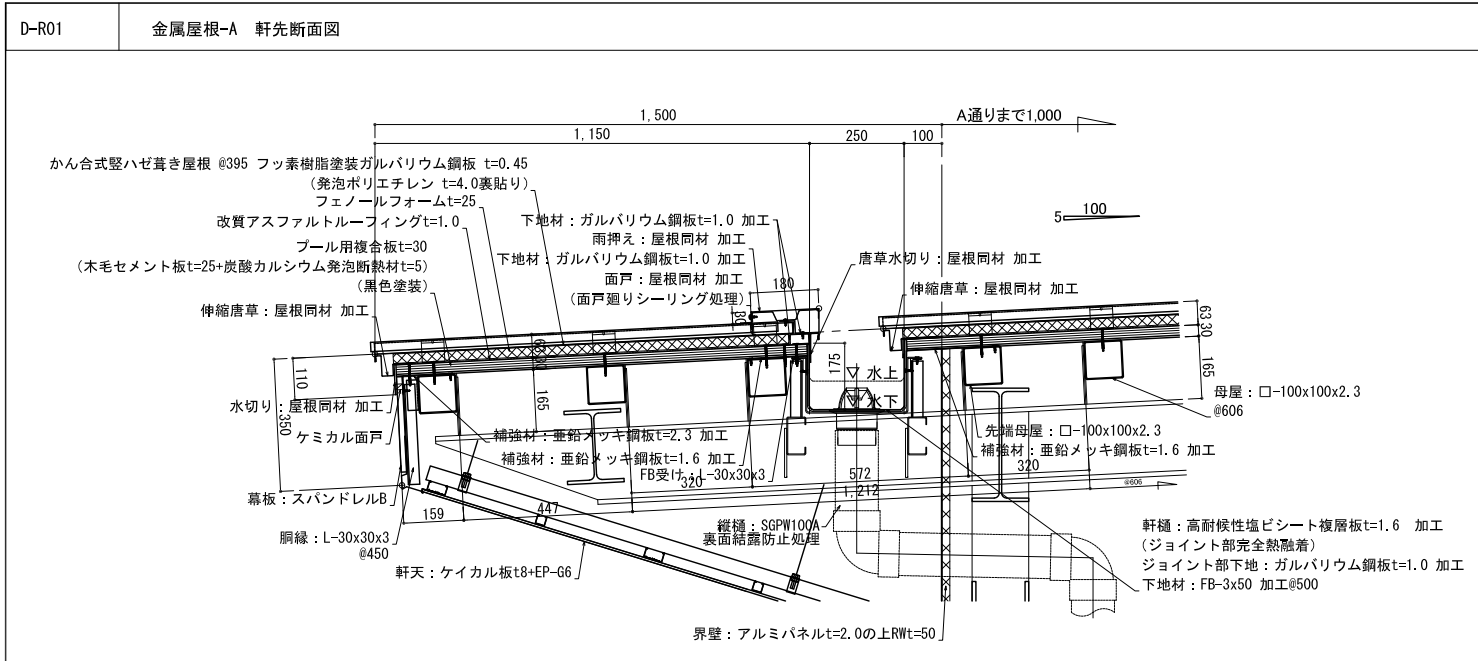
W-01	コンクリート 打放し仕上げ	1/5	W-02	打ち放しコンクリートの出隅 (壁出隅)	1/5	W-03	打ち放しコンクリートの出隅 (横出隅)	1/5	W-04	外壁水平打継目地 (コンクリート壁)	1/2	W-05	外壁ひび割れ誘発目地 (コンクリート壁)	1/2	W-06	縦誘発目地	1/5				
標仕表6.2.4 ・A種 ・B種 ・C種 増打寸法は記入がなければ外部20mm、内部10mmとする			適用 特記外については全て共通 H2100までとし、上部ピン角			適用 特記外については全て共通			適用 特記外については全て共通			適用 特記外については全て共通			適用 特記外については全て共通						
W-13-1			W-13-1			W-23-1			W-23-1			W-23-2			W-23-2						
W-07	陶磁器質タイル張り (内装タイル) (接着剤張り)	1/5	W-08	モルタル塗り (コンクリート下地)	1/5	W-09	せっこうボード張り (片壁工法 二重張り)	1/5	W-10	せっこうボード張り (軽鉄下地)	1/5	W-11	せっこうボード張り (軽鉄下地 二重張り)	1/5	W-12	地下外壁貫通孔	1/5				
タイル 標準は記入がなければ、内装20mm、外装25mmとする			適用 特記外については全て共通			適用 特記外については全て共通			適用 特記外については全て共通			適用 特記外については全て共通			適用 特記外については全て共通						
W-12-4			W-13-2			W-14-4			W-14-5			W-14-6			W-41-1						
W-13	内壁ボード張り伸縮目地 (LGS下地)	1/2	W-14	内壁クロス張り化粧目地 (ボード下地の場合)	1/2	W-16	グラスウール仕上げ	1/5	W-17	壁とサッシ取り合い	1/5	W-18	ボード仕上げ出隅取り合い	1/2							
伸縮目地 ポリ塩化ビニル製既製品 壁長4000mm内外毎に設置			差し込み目地材 ポリ塩化ビニル製既製品 目地間隔 別図による			グラスウール 32kg/m ³ 品とする H寸法 記入がなければ、機械室H=1300、電気室H=100とする			仕上 A-BE W寸法 別図による ロックウール 80kg/m ³ 品			仕上ボード (記入がなければ、せっこうボード 厚12.5) 下張りボード (記入がなければ、せっこうボード 厚9.5)									
W-14-9			W-16-1			W-15-3			W-21-1			W-22-1									
W-19	コーナーガード-A	1/2	W-20	入隅取り合い (1)	1/5	W-21	入隅取り合い (2)	1/5	W-22	入隅取り合い (3)	1/5	W-23	吸音壁-A	1/5	W-24	耐火壁-A	1/10				
出隅部材 アルミ製出隅12.5 (既製品) 指定色焼付塗装 使用部位 ボード壁出隅すべてに適用			仕上ボード 記入がなければせっこうボード 厚12.5とする 下張りボード 記入がなければせっこうボード 厚9.5とする 内壁伸縮目地 ポリ塩化ビニル製既製品 (クロス張り又は塗装仕上)			仕上ボード 記入がなければせっこうボード 厚12.5とする 下張りボード 記入がなければせっこうボード 厚9.5とする 内壁伸縮目地 ポリ塩化ビニル製既製品 (クロス張り又は塗装仕上)			仕上ボード 記入がなければせっこうボード 厚12.5とする 下張りボード 記入がなければせっこうボード 厚9.5とする 内壁伸縮目地 ポリ塩化ビニル製既製品 (クロス張り又は塗装仕上)			吸音材 記入がなければグラスウール32kg/m ³ 品 (厚25)とする 有孔ボード FK-6+EP-G 孔形状 5 @ 25 出隅・入隅 出隅・入隅部分の収まりは別図による 有孔ボードの仕上げは特記による			FP060 NP-0174 四周シーリング・充填材処理とする						
W-22-2			W-22-2			W-22-3			W-22-4			W-14-8									
株式会社東畑建築事務所 TOHATA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.												設計番号 20170253 一級建築士 No. 286010 小柳 英治		作成日 2021.03 担当		種別/備考 標準詳細図		工事名称 余熱利用施設建設工事 図面名称 標準詳細図 その2 縮尺 A1: 1/5 A3: 1/10		図面番号 A-031	

W-25	耐火壁-B	1/10	W-26	間仕切壁-A	1/10	W-27	間仕切壁-B	1/10	W-28	間仕切壁-C	1/10	W-29	間仕切壁-D	1/10	W-30	防露壁-A	1/10												
FP060 NP-0007 四周シーリング・充填材処理とする			多湿となる室では、表面ボードをGB-R → GB-Sとする (適用: WC2、前室1~4、プール室、器具庫) 内装不燃の場合は、GB-R9.5 → GB-R12.5とする 遮音を考慮した間仕切り壁として仕様			多湿となる室では、表面ボードをGB-R → GB-Sとする (適用: WC2、前室1~4、プール室、器具庫) 内装不燃の場合は、GB-R9.5 → GB-R12.5とする			多湿となる室では、表面ボードをGB-R → GB-Sとする (適用: WC2、前室1~4、プール室、器具庫) 内装不燃の場合は、GB-R9.5 → GB-R12.5とする			多湿となる室では、表面ボードをGB-R → GB-Sとする (適用: WC2、前室1~4、プール室、器具庫) 内装不燃の場合は、GB-R9.5 → GB-R12.5とする			断熱材 現場発泡ウレタン吹付t15 多湿となる室では、表面ボードをGB-R → GB-Sとする (適用: WC2、前室1~4、プール室、器具庫)														
W-32	軽鉄壁下地 (下張りボード有りの場合)				1/5, 1/100	W-33	軽鉄壁下地 (下張りボードスラブ下までの場合)				1/5, 1/100	W-34	垂直耐震スリット(2) (コンクリート壁)		1/5	W-35	垂直耐震スリット(3) (内壁せつこうボード直張り)		1/5										
本図部材は、スタッド高さ=4000以下の場合を示す					本図部材は、スタッド高さ=4000以下の場合を示す					スリット厚 材質 目地幅 耐火等級は別図による					スリット厚 材質 目地幅 耐火等級は別図による														
W-36	水平耐震スリット(1) (陶磁器質タイル壁)		1/5	W-37	水平耐震スリット(2) (コンクリート壁)		1/5	W-38	水平耐震スリット(3) (内壁せつこうボード直張り)		1/5	W-39	消火器ボックス廻り		1/10, 1/20	W-40	成形材廻り縁(1)		1/2	W-41	成形材廻り縁(2) (二重張り)		1/2						
スリット厚 材質 目地幅 耐火等級は別図による 記入なければ20mmとする					スリット厚 材質 目地幅 耐火等級は別図による 記入なければ25mmとする					スリット厚 材質 目地幅 耐火等級は別図による					廻り縁 塩ビ製 既製品					廻り縁 塩ビ製 既製品									
W-24-4					W-24-5					W-24-6					W-31-4					W-31-5									
W-42	下り壁出隅 (天井ボード二重張り)		1/2	W-43	下り壁見切縁 (天井ボード二重張り)		1/2	W-44	ピクチャーレール		1/2	W-45	掲示壁A		1/5	W-46	スパンﾄﾞレル-A		1/10	W-47	スパンﾄﾞレル-B		1/10						
W-32-4					W-32-2					バンチングメタル 丸穴10φ@12.5 60° 押し A-BE 表面材種 掲示クロス 材種(見切材) 米指 MP 寸法 各詳細図に拠る					設計番号 20170253 作成日 2021.03 種別/備考 耐火が必要な外壁					耐火が必要な外壁									
W-32-4					W-32-2					株式会社東畑建築事務所 TOHATA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC. 小柳 英治					設計番号 20170253 作成日 2021.03 種別/備考 耐火が必要な外壁					耐火が必要な外壁									
工事名称 余熱利用施設建設工事 図面名称 標準詳細図 その3 縮尺 A1: 1/5 A3: 1/10																図面番号 A-032													

C-01	ロックウール化粧吸音板張り (下張り有り)	1/5	C-02	ボード、合板張り(1) (下張り無し)	1/5	C-03	ブラインド、カーテンボックス(1)	1/5	C-04	ボックス標準寸法	-	C-05	天井スリット照明	1/5	C-06	アルミ見切-A	1/5																																																							
									<table border="1"> <caption>ブラインドボックス 標準寸法 一覧表</caption> <thead> <tr> <th>番号</th> <th>番号</th> <th>W</th> <th>H</th> <th>L</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>レース</td><td>120</td><td>100</td><td>150</td></tr> <tr><td>2</td><td>ケースメント</td><td>120</td><td>100</td><td>150</td></tr> <tr><td>3</td><td>ドレープ又は暗幕</td><td>160</td><td>100</td><td>150</td></tr> <tr><td>4</td><td>レース+ドレープ</td><td>220</td><td>100</td><td>150</td></tr> <tr><td>5</td><td>ベネシャンブラインド (手動)</td><td>120</td><td>h/15+90</td><td>0</td></tr> <tr><td>6</td><td>ベネシャンブラインド (電動)</td><td>120</td><td>200</td><td>0</td></tr> <tr><td>7</td><td>ドレープ+ベネシャンブラインド (手動)</td><td>220</td><td>h/15+90</td><td>150</td></tr> <tr><td>8</td><td>暗幕+ベネシャンブラインド</td><td>220</td><td>h/15+90</td><td>150</td></tr> <tr><td>⑨</td><td>ロールスクリーン (手動)</td><td>130</td><td>130</td><td>50</td></tr> <tr><td>⑩</td><td>ロールスクリーン (電動)</td><td>200</td><td>200</td><td>50</td></tr> </tbody> </table> <p>・ベネシャンブラインドの建具開口部寸法による。 ・Lはカーテンボックスの長さが6000程度で、開閉が引き分けの場合のカーテンのたたみ寸法を示す。 ・ドレープ及び暗幕は交差レールを使用する。</p>			番号	番号	W	H	L	1	レース	120	100	150	2	ケースメント	120	100	150	3	ドレープ又は暗幕	160	100	150	4	レース+ドレープ	220	100	150	5	ベネシャンブラインド (手動)	120	h/15+90	0	6	ベネシャンブラインド (電動)	120	200	0	7	ドレープ+ベネシャンブラインド (手動)	220	h/15+90	150	8	暗幕+ベネシャンブラインド	220	h/15+90	150	⑨	ロールスクリーン (手動)	130	130	50	⑩	ロールスクリーン (電動)	200	200	50						
番号	番号	W	H	L																																																																				
1	レース	120	100	150																																																																				
2	ケースメント	120	100	150																																																																				
3	ドレープ又は暗幕	160	100	150																																																																				
4	レース+ドレープ	220	100	150																																																																				
5	ベネシャンブラインド (手動)	120	h/15+90	0																																																																				
6	ベネシャンブラインド (電動)	120	200	0																																																																				
7	ドレープ+ベネシャンブラインド (手動)	220	h/15+90	150																																																																				
8	暗幕+ベネシャンブラインド	220	h/15+90	150																																																																				
⑨	ロールスクリーン (手動)	130	130	50																																																																				
⑩	ロールスクリーン (電動)	200	200	50																																																																				
下張りボードは、記入がなければセッコボード 厚9.5とする			目地幅は、記入がなければ5mmとする			記入がなければ両端部とも同材側板付きとする																																																																		
C-07	軒天吹出口		C-08	アルミカットパネル	1/10																																																																			
R-01	パラペット及び屋上仕上(防水-A)				1/20	R-02	パラペット(コンクリート壁) ひび割れ誘発目地	1/10	R-03	屋外機械基礎 (構造一体型)	1/20	R-04			R-05	縦樋(内部)	1/10																																																							
防水 A 高強度ウレタン 473 複合塗膜防水 遮熱仕様						壁配筋 鉄筋コンクリート標準図その4による 目地配置 2.0m以下の間隔に設ける			防水材 防水A 寸法 図示 ボルト部キャップ付き			(A) 保護層のある場合 (B) 露出防水の場合																																																												
パラペット形状は、断面図による						R-13-3																																																																		
R-06	オーバーフロー管 (露出防水)	1/10	R-07	縦樋足元	1/5, 1/50	R-08	配管取出し部	1/30	R-09	水切-A	1/5																																																													
オーバーフロー管 ステンレス製 キャップ ステンレス製 ネジ式 φ60.5 防水押え ステンレス製 φ130 管底高さは排出し口等より下とする。			(A) 塩化ビニル製の場合 (B) ステンレス製の場合			断熱材 t= 開口部パネル ステンレス SUS304 HL 厚1.0 (パネルサイズに応じて補強) 裏面結露防止処理			下地 木毛セメント板t15			(A) 床仕上のある場合 (B) 床仕上のない場合																																																												
R-14-2			形状・寸法については、参考とする			R-32-3			R-41-1			R-32-2																																																												
株式会社東畑建築事務所 TOHATA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.										設計番号 20170253 一級建築士 NO. 286010 小柳 英治		作成日 2021.03 担当		種別/備考		工事名称 余熱利用施設建設工事 図面名称 標準詳細図 その4 縮尺 A1: 1/5 A3: 1/10		図面番号 A-033																																																						

<p>E-01 配管バック1 (床置大便器) 1/20</p>	<p>E-02 配管バック3 (床置大便器) 1/20</p>	<p>E-03 配管バック5 (洗面器) 1/20</p>	<p>E-04 配管バック4 (壁掛小便器) 1/20</p>	<p>E-05 配管バック6 (清掃用流し) 1/20</p>	<p>E-06 掃除用流し取付部廻り 1/20</p>						
<p>寸法 W=200 H=900 (記入がなければ、W=150 H=900) 面台 メラミン化粧板 ポストフォーム</p>	<p>寸法 W=200 H=900 (記入がなければ、W=150 H=900) 面台 メラミン化粧板 ポストフォーム</p>	<p>面台 メラミン化粧板 ポストフォーム 側板 記入なければバック壁仕上げと同じとする。</p>	<p>寸法 W=150 H=1100 (記入がなければ、W=150 H=1400) 面台 メラミン化粧板 ポストフォーム 汚巻石部</p>	<p>寸法 W=150 H=1100 (記入がなければ、W=150 H=1400) 面台 SUS304厚1.5加工 HL仕上</p>							
配管バック仕上材は記入がなければ便所壁仕上げと同じとする。		E-11-1 配管バック仕上材は記入がなければ便所壁仕上材と同じとする。		E-11-3 配管バック仕上材は記入がなければ便所壁仕上材と同じとする。		E-11-5 配管バック仕上材は記入がなければ便所壁仕上材と同じとする。		E-11-4 配管バック仕上材は記入がなければ便所壁仕上材と同じとする。		E-11-6 配管バックの仕上げは記入がなければ室内壁仕上げと同じとする。	
<p>E-07 補助手摺取付詳細 1/5</p>	<p>E-08 補助手摺-A 1/20</p>	<p>E-09 補助手摺-B 1/20</p>	<p>E-10 化粧鏡・姿見 1/30</p>	<p>E-11 トイレブース (既製品) 1/5</p>	<p>E-12 洗面カウンター-A バウンダーカウンター-A 1/20</p>						
特記事項 鉄ねじ手摺に適用 トイレブース等、補強が必要な部分への取付に際しては、 トイレブース等メーカー及び手摺メーカーと充分協議を行い施工のこと		仕様 SUS製 樹脂被覆タイプ 34φ程度 木下地の場合、下地補強 耐水合板12以上		仕様 SUS製 樹脂被覆タイプ 34φ程度 木下地の場合、下地補強 耐水合板12以上		仕様 SUS製 樹脂被覆タイプ 34φ程度 木下地の場合、下地補強 耐水合板12以上 側板 トイレブース同材 ステンレス巾木 小口アルミ既製品押え		寸法 図示 鏡上面と鏡面は面一仕上げにすること。		鏡巾掛付 2段式 L=600 ステンレス製既製品 掃除用具掛けフック ステンレス製既製品 3個 棚 フラッシュ芯メラミン化粧板 厚30 (小口共材張り) 幅が900を超える場合はL型ブラケットにて取り付け E-12-1	
<p>E-13 流し台・コンロ台 取合い (面台タイプ) (軽鉄壁の場合) 1/5</p>	<p>E-14 流し台・コンロ台 取合い (面台タイプ) 1/5</p>		<p>E-12 洗面カウンター-A バウンダーカウンター-A 1/20</p>		<p>E-12 洗面カウンター-B バウンダーカウンター-B 1/20</p>						
表面材 メラミン化粧板 寸法 厚部: W600×H2100、プース部: 天井まで		付属金物 アルミ表面仕上 表示付スライドボルト (非常解錠付)、取手、戸当り掛子掛け 荷物掛けフック		寸法 特記無き限り H=750 P1、P2は図示 洗面カウンター メラミン化粧板ポストフォーム 面台 メラミン化粧板ポストフォーム		化粧鏡-B 寸法図示 隔て板 メラミン化粧板強合板 小口エナメル塗装		寸法 特記無き限り H=750 P1、P2は図示 洗面カウンター 人工大理石製 ポウル一体型 化粧鏡-A 寸法図示 腰パネル メラミン化粧板フラッシュ 厚25 排水金具を含む			
ペーパーホルダー・手摺・フック・ウォシュレットリモコン等の取付位置及び戸当り部には内部に補強材を入れること		流し台、調理台取合部シリコン系シーリング材充てんとする		流し台、調理台取合部シリコン系シーリング材充てんとする		流し台、調理台取合部シリコン系シーリング材充てんとする		流し台、調理台取合部シリコン系シーリング材充てんとする			
流し台、調理台取合部シリコン系シーリング材充てんとする		流し台、調理台取合部シリコン系シーリング材充てんとする		流し台、調理台取合部シリコン系シーリング材充てんとする		流し台、調理台取合部シリコン系シーリング材充てんとする		流し台、調理台取合部シリコン系シーリング材充てんとする			
流し台、調理台取合部シリコン系シーリング材充てんとする		流し台、調理台取合部シリコン系シーリング材充てんとする		流し台、調理台取合部シリコン系シーリング材充てんとする		流し台、調理台取合部シリコン系シーリング材充てんとする		流し台、調理台取合部シリコン系シーリング材充てんとする			
流し台、調理台取合部シリコン系シーリング材充てんとする		流し台、調理台取合部シリコン系シーリング材充てんとする		流し台、調理台取合部シリコン系シーリング材充てんとする		流し台、調理台取合部シリコン系シーリング材充てんとする		流し台、調理台取合部シリコン系シーリング材充てんとする			
流し台、調理台取合部シリコン系シーリング材充てんとする		流し台、調理台取合部シリコン系シーリング材充てんとする		流し台、調理台取合部シリコン系シーリング材充てんとする		流し台、調理台取合部シリコン系シーリング材充てんとする		流し台、調理台取合部シリコン系シーリング材充てんとする			
流し台、調理台取合部シリコン系シーリング材充てんとする		流し台、調理台取合部シリコン系シーリング材充てんとする		流し台、調理台取合部シリコン系シーリング材充てんとする		流し台、調理台取合部シリコン系シーリング材充てんとする		流し台、調理台取合部シリコン系シーリング材充てんとする			
流し台、調理台取合部シリコン系シーリング材充てんとする		流し台、調理台取合部シリコン系シーリング材充てんとする		流し台、調理台取合部シリコン系シーリング材充てんとする		流し台、調理台取合部シリコン系シーリング材充てんとする		流し台、調理台取合部シリコン系シーリング材充てんとする			
流し台、調理台取合部シリコン系シーリング材充てんとする		流し台、調理台取合部シリコン系シーリング材充てんとする		流し台、調理台取合部シリコン系シーリング材充てんとする		流し台、調理台取合部シリコン系シーリング材充てんとする		流し台、調理台取合部シリコン系シーリング材充てんとする			
流し台、調理台取合部シリコン系シーリング材充てんとする		流し台、調理台取合部シリコン系シーリング材充てんとする		流し台、調理台取合部シリコン系シーリング材充てんとする		流し台、調理台取合部シリコン系シーリング材充てんとする		流し台、調理台取合部シリコン系シーリング材充てんとする			
流し台、調理台取合部シリコン系シーリング材充てんとする		流し台、調理台取合部シリコン系シーリング材充てんとする		流し台、調理台取合部シリコン系シーリング材充てんとする		流し台、調理台取合部シリコン系シーリング材充てんとする		流し台、調理台取合部シリコン系シーリング材充てんとする			
流し台、調理台取合部シリコン系シーリング材充てんとする		流し台、調理台取合部シリコン系シーリング材充てんとする		流し台、調理台取合部シリコン系シーリング材充てんとする		流し台、調理台取合部シリコン系シーリング材充てんとする		流し台、調理台取合部シリコン系シーリング材充てんとする			
流し台、調理台取合部シリコン系シーリング材充てんとする		流し台、調理台取合部シリコン系シーリング材充てんとする		流し台、調理台取合部シリコン系シーリング材充てんとする		流し台、調理台取合部シリコン系シーリング材充てんとする		流し台、調理台取合部シリコン系シーリング材充てんとする			
流し台、調理台取合部シリコン系シーリング材充てんとする		流し台、調理台取合部シリコン系シーリング材充てんとする		流し台、調理台取合部シリコン系シーリング材充てんとする		流し台、調理台取合部シリコン系シーリング材充てんとする		流し台、調理台取合部シリコン系シーリング材充てんとする			
流し台、調理台取合部シリコン系シーリング材充てんとする		流し台、調理台取合部シリコン系シーリング材充てんとする		流し台、調理台取合部シリコン系シーリング材充てんとする		流し台、調理台取合部シリコン系シーリング材充てんとする		流し台、調理台取合部シリコン系シーリング材充てんとする			
流し台、調理台取合部シリコン系シーリング材充てんとする		流し台、調理台取合部シリコン系シーリング材充てんとする		流し台、調理台取合部シリコン系シーリング材充てんとする		流し台、調理台取合部シリコン系シーリング材充てんとする		流し台、調理台取合部シリコン系シーリング材充てんとする			
流し台、調理台取合部シリコン系シーリング材充てんとする		流し台、調理台取合部シリコン系シーリング材充てんとする		流し台、調理台取合部シリコン系シーリング材充てんとする		流し台、調理台取合部シリコン系シーリング材充てんとする		流し台、調理台取合部シリコン系シーリング材充てんとする			
流し台、調理台取合部シリコン系シーリング材充てんとする		流し台、調理台取合部シリコン系シーリング材充てんとする		流し台、調理台取合部シリコン系シーリング材充てんとする		流し台、調理台取合部シリコン系シーリング材充てんとする		流し台、調理台取合部シリコン系シーリング材充てんとする			
流し台、調理台取合部シリコン系シーリング材充てんとする		流し台、調理台取合部シリコン系シーリング材充てんとする		流し台、調理台取合部シリコン系シーリング材充てんとする		流し台、調理台取合部シリコン系シーリング材充てんとする		流し台、調理台取合部シリコン系シーリング材充てんとする			
流し台、調理台取合部シリコン系シーリング材充てんとする		流し台、調理台取合部シリコン系シーリング材充てんとする		流し台、調理台取合部シリコン系シーリング材充てんとする		流し台、調理台取合部シリコン系シーリング材充てんとする		流し台、調理台取合部シリコン系シーリング材充てんとする			
流し台、調理台取合部シリコン系シーリング材充てんとする		流し台、調理台取合部シリコン系シーリング材充てんとする		流し台、調理台取合部シリコン系シーリング材充てんとする		流し台、調理台取合部シリコン系シーリング材充てんとする		流し台、調理台取合部シリコン系シーリング材充てんとする			
流し台、調理台取合部シリコン系シーリング材充てんとする		流し台、調理台取合部シリコン系シーリング材充てんとする		流し台、調理台取合部シリコン系シーリング材充てんとする		流し台、調理台取合部シリコン系シーリング材充てんとする		流し台、調理台取合部シリコン系シーリング材充てんとする			
流し台、調理台取合部シリコン系シーリング材充てんとする		流し台、調理台取合部シリコン系シーリング材充てんとする		流し台、調理台取合部シリコン系シーリング材充てんとする		流し台、調理台取合部シリコン系シーリング材充てんとする		流し台、調理台取合部シリコン系シーリング材充てんとする			
流し台、調理台取合部シリコン系シーリング材充てんとする		流し台、調理台取合部シリコン系シーリング材充てんとする		流し台、調理台取合部シリコン系シーリング材充てんとする		流し台、調理台取合部シリコン系シーリング材充てんとする		流し台、調理台取合部シリコン系シーリング材充てんとする			
流し台、調理台取合部シリコン系シーリング材充てんとする		流し台、調理台取合部シリコン系シーリング材充てんとする		流し台、調理台取合部シリコン系シーリング材充てんとする		流し台、調理台取合部シリコン系シーリング材充てんとする		流し台、調理台取合部シリコン系シーリング材充てんとする			

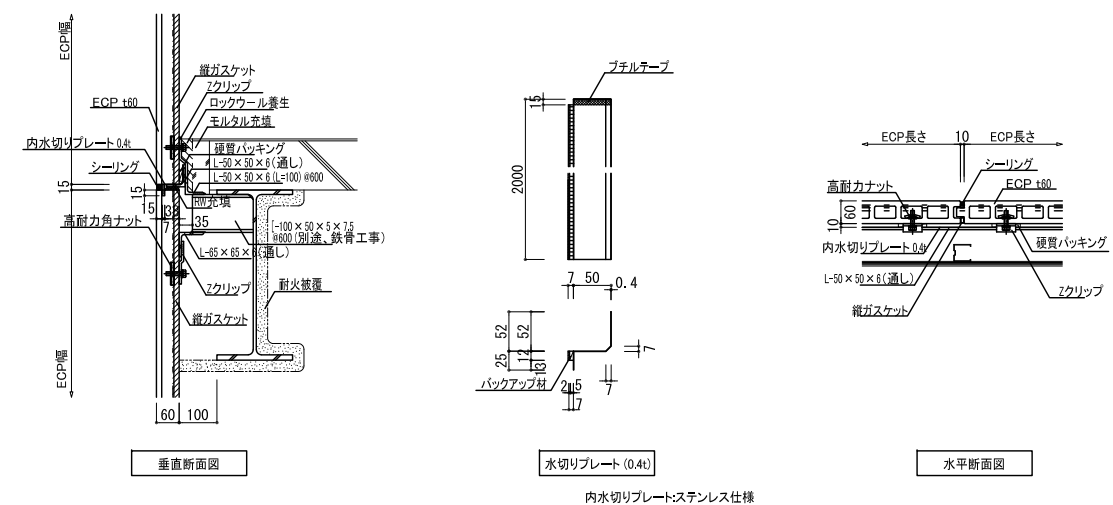
<p>G-01 インターロッキングブロック舗装 (歩道用) 1/10</p>	<p>G-02 インターロッキングブロック舗装 (一般車路用) 1/10</p>	<p>G-03 インターロッキングブロック舗装 (大型車路用) 1/10</p>	<p>G-04 コンクリート舗装 1/10</p>	<p>G-05 アスファルト舗装 1/10</p>	<p>G-06 透水性アスファルト舗装 1/10</p>						
<p>インターロッキングブロック 透水性の場合は、透水性インターロッキングブロックとする</p>		<p>インターロッキングブロック 透水性の場合は、透水性インターロッキングブロックとする</p>		<p>インターロッキングブロック 透水性の場合は、透水性インターロッキングブロックとする</p>		<p>目地 (樹脂発泡目地材) #4000内外 配入なければ20mmとする</p>		<p>アスファルト混合物は配入が無ければ密着度とする</p>		<p>歩道部・4t以下の管理用車両が通行する場所を使用</p>	
<p>G-07 車路 (真空コンクリート) 1/20</p>	<p>G-08 緑石-A (歩車道境界ブロック) 1/10</p>	<p>G-09 緑石-B (歩車道境界ブロック/パリアフリータイプ) 1/20</p>	<p>G-10 緑石-C (地先境界ブロック) 1/10</p>	<p>G-11 U形側溝 (1) (プレキャスト・上置き蓋式) 1/10</p>	<p>G-12 PU3型側溝 (プレキャスト・落とし蓋式) 1/10</p>						
<p>床ずれ止め処置 詳細図による</p>		<p>伸縮目地 詳細図による</p>		<p>歩車道境界ブロック 150 (160) X200X600 コーナ部はコーナーブロック使用のこと</p>		<p>コンクリート (18-8-25)</p>		<p>寸法 W,H寸法は外構排水計画図による</p>		<p>寸法 W,H寸法は外構排水計画図による</p>	
<p>仕上 幕目仕上げ 刷毛仕上げ</p>		<p>砕石 再生クラッシュラン (RC-40)</p>		<p>O-2-1-2 W1,W2,H寸法は、使用するU形側溝のサイズ規格寸法による</p>		<p>O-2-1-7 W1,W2,H寸法は、使用するU形側溝のサイズ規格寸法による</p>		<p>O-2-1-8 W1,W2,H寸法は、使用するU形側溝のサイズ規格寸法による</p>		<p>O-2-1-9</p>	
<p>G-13 横断溝 1/10</p>	<p>G-14 L形側溝 (250B) 1/10</p>	<p>G-15 雨水樹</p>		<p>G-16 浸透樹 1:20</p>	<p>G-017 雨水排水管 1/10</p>						
<p>寸法 W= H= (W=500以下とする)</p>		<p>寸法 W,H寸法は雨水排水会所リストによる</p>		<p>壁厚 100 (W=300,450) 120 (W=600)</p>		<p>H=750以下は壁厚100、H=760~1350は壁厚120</p>		<p>化粧蓋 受枠共</p>		<p>点線は管径300φ以下の場合</p>	
<p>蓋 受枠共既製品とする 適用荷重T= 20 ton</p>		<p>H=750以下は壁厚100、H=760~1350は壁厚120</p>		<p>タラップはH≧700のときに適用</p>		<p>化粧蓋 受枠共</p>		<p>点線は管径300φ以下の場合</p>		<p>管径φ200</p>	
<p>O-2-1-9</p>		<p>O-2-1-1</p>		<p>O-2-1-2</p>		<p>O-2-1-7</p>		<p>O-2-1-8</p>		<p>O-2-1-9</p>	
<p>G-18 駐車場ライン引き 1/100</p>	<p>G-19 車止め 1/20</p>	<p>G-20 BOXカルバート 1/20</p>	<p>G-21 浸透側溝 1:20</p>	<p>G-017 雨水排水管 1/10</p>	<p>G-017 雨水排水管 1/10</p>						
<p>ライン仕様 白色 特記のない場合 W=100</p>		<p>平面図 600 160 480 60 190</p>		<p>ボックスカルバート B800×H600、T-25 (B800×H900、T-25)</p>		<p>透水側溝</p>		<p>雨水管</p>		<p>特記なき限り硬質塩化ビニル管とし、呼び径が250以下はVP管、300以上はVU管とする</p>	
<p>マーク仕様 白色</p>		<p>正面図 50 90 50 105 190</p>		<p>敷モルタル (1:3)</p>		<p>不透布</p>		<p>雨水管</p>		<p>呼び径が250以下はVP管、300以上はVU管とする</p>	
<p>車止めブロック 特記外 W=2,500、D=5,000とする (寸法は図示による)</p>		<p>側面図 190 105 190</p>		<p>コンクリート (18-8-25)</p>		<p>透水シート</p>		<p>雨水管</p>		<p>呼び径が250以下はVP管、300以上はVU管とする</p>	
<p>O-5-1-1</p>		<p>施工断面図 50 90 50 105 190</p>		<p>基礎材 (RC-40)</p>		<p>透水シート</p>		<p>雨水管</p>		<p>呼び径が250以下はVP管、300以上はVU管とする</p>	
<p>O-5-1-1</p>		<p>ホールキャップ</p>		<p>()は、B800×H900の場合</p>		<p>透水シート</p>		<p>雨水管</p>		<p>呼び径が250以下はVP管、300以上はVU管とする</p>	
<p>O-5-1-1</p>		<p>アスファルトアンカー L=200 φ20</p>		<p>設計番号 20170253</p>		<p>作成日 2021.03</p>		<p>種別/備考</p>		<p>工事名称 余熱利用施設建設工事</p>	
<p>O-5-1-1</p>		<p>パーキングボンド</p>		<p>一級建築士 NO. 286010</p>		<p>担当 小柳 英治</p>		<p>標準詳細図 その7 縮尺 A1: 1/5 A3: 1/10</p>		<p>図面番号 A-036</p>	
<p>O-5-1-1</p>		<p>図示による</p>		<p>TOHATA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.</p>		<p>図面番号</p>		<p>標準詳細図 その7 縮尺 A1: 1/5 A3: 1/10</p>		<p>図面番号 A-036</p>	



株式会社東畑建築事務所 TOHATA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.	設計番号	20170253	作成日	2021.03	種別/備考	工事名称	余熱利用施設建設工事	図面番号
	一級建築士 NO.	286010	担当			図面名称	部分詳細図 その1 縮尺 A1: 1/10 A3: 1/20	

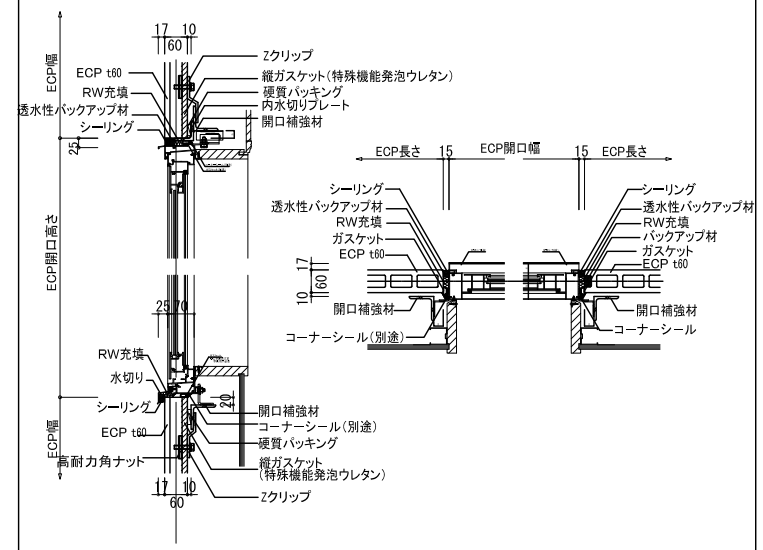
D-W01

押出成形セメント板 一般ジョイント部詳細図

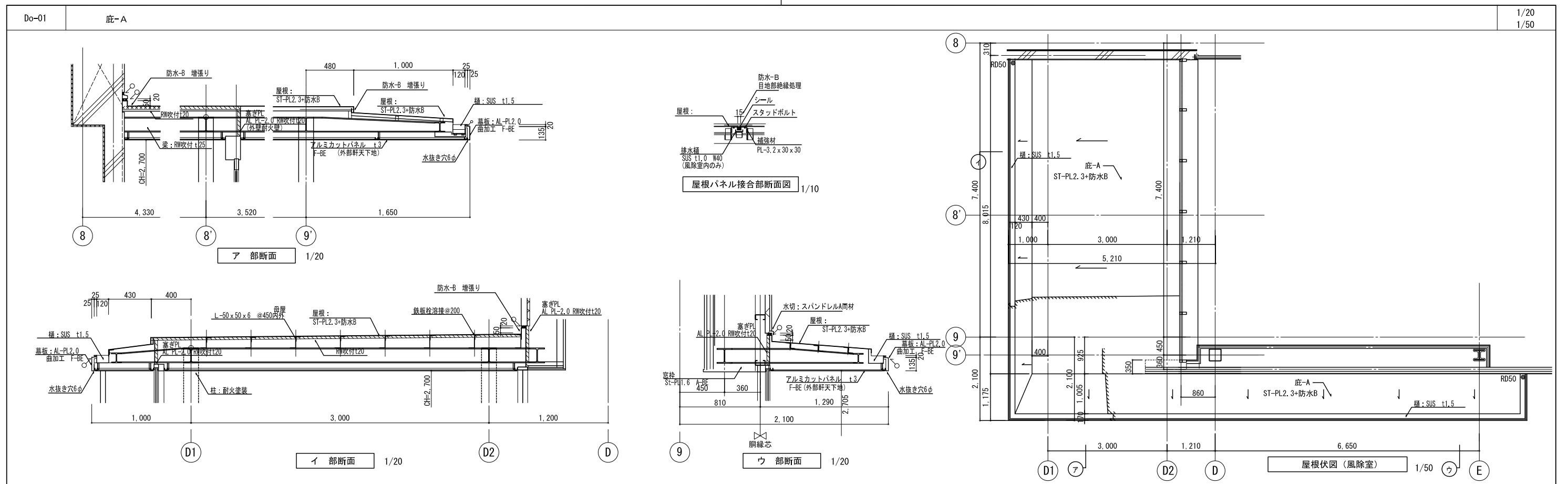


D-W02

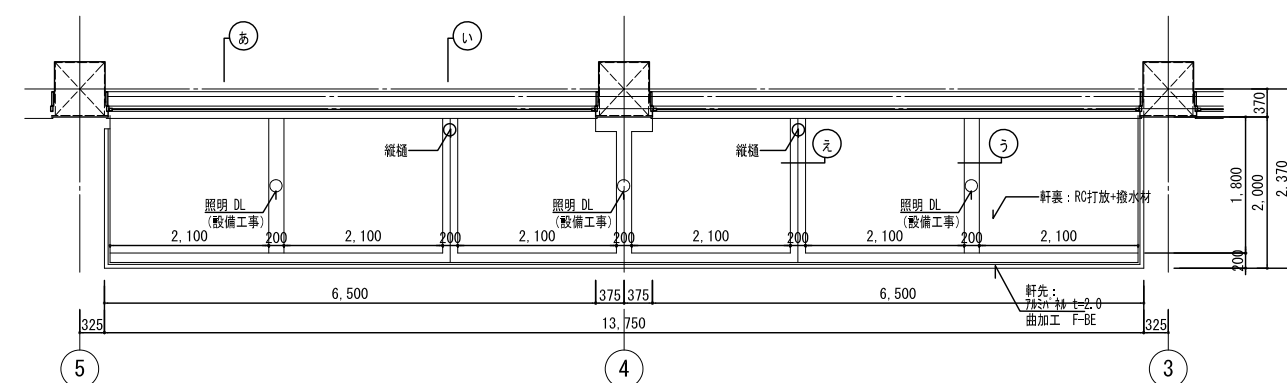
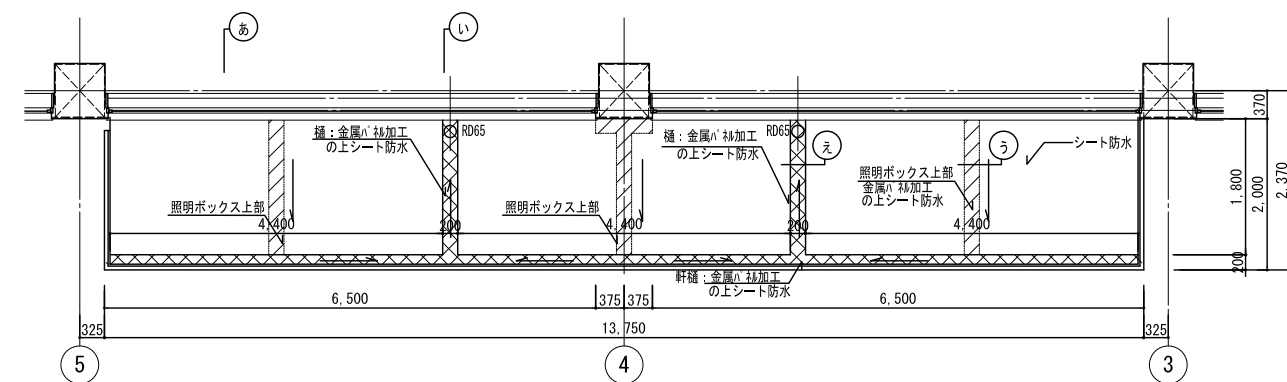
押出成形セメント板 開口部詳細図



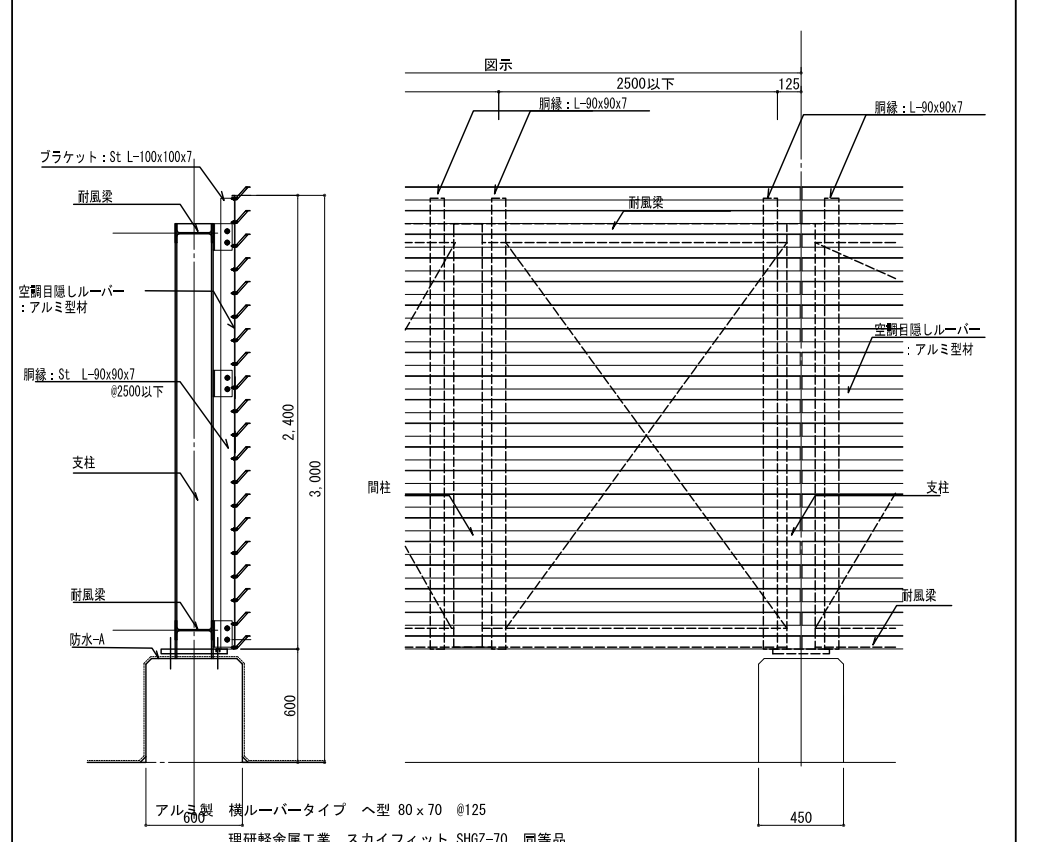
<p>株式会社東畑建築事務所 TOHATA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.</p>	<p>設計番号 20170253 一級建築士 NO. 286010 小柳 英治</p>	<p>作成日 2021.03 担当</p>	<p>種別/備考</p>	<p>工事名称 余熱利用施設建設工事 図面名称 部分詳細図 その2</p>	<p>図面番号 A-038</p>
<p>縮尺 A1: 1/10 A3: 1/20</p>					



F-BE フッ素樹脂焼付塗装 (シルバー)
種 SUS t1.5 水密溶接 裏面ベフ吹付t3 水勾配1/200以上

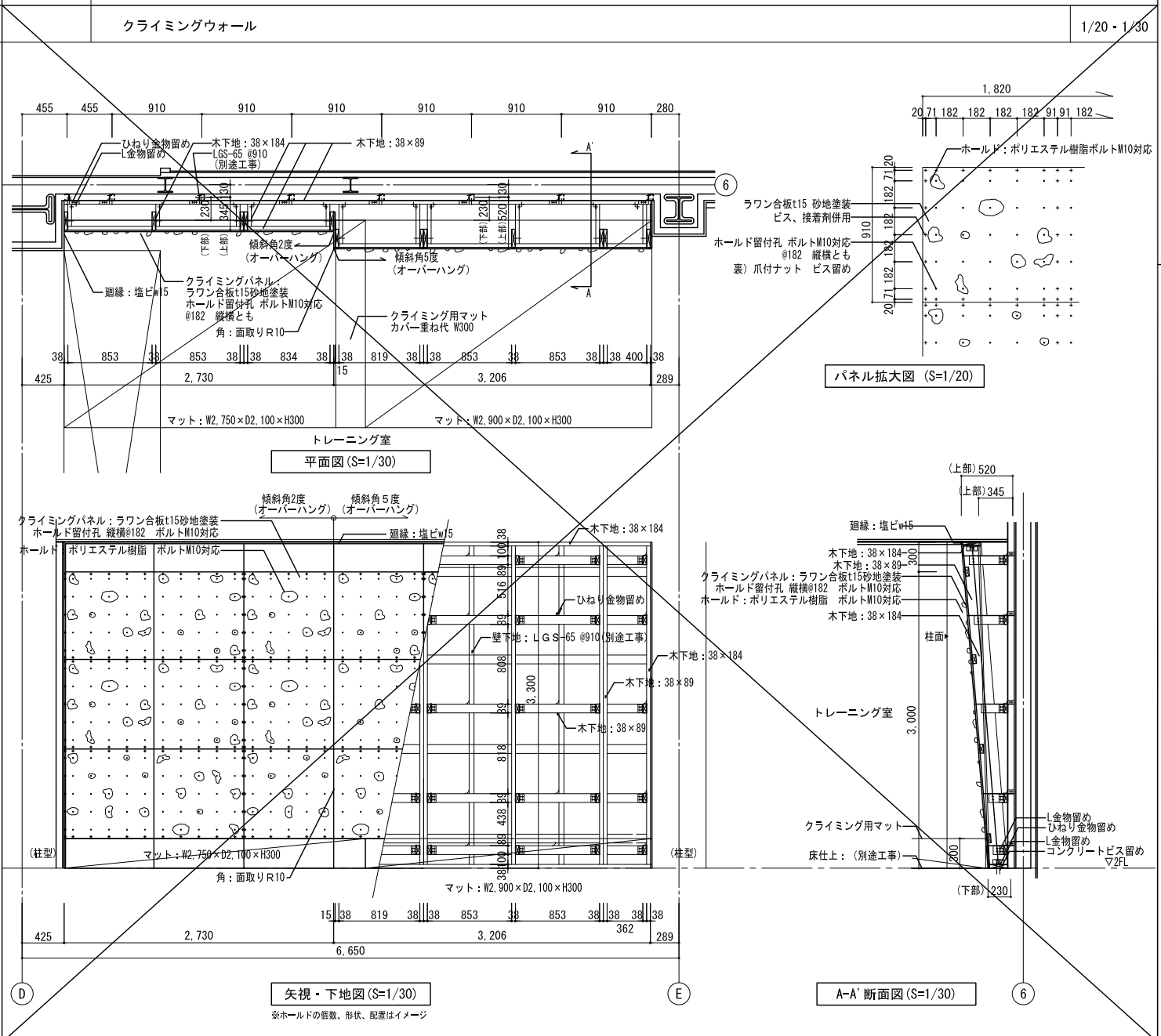
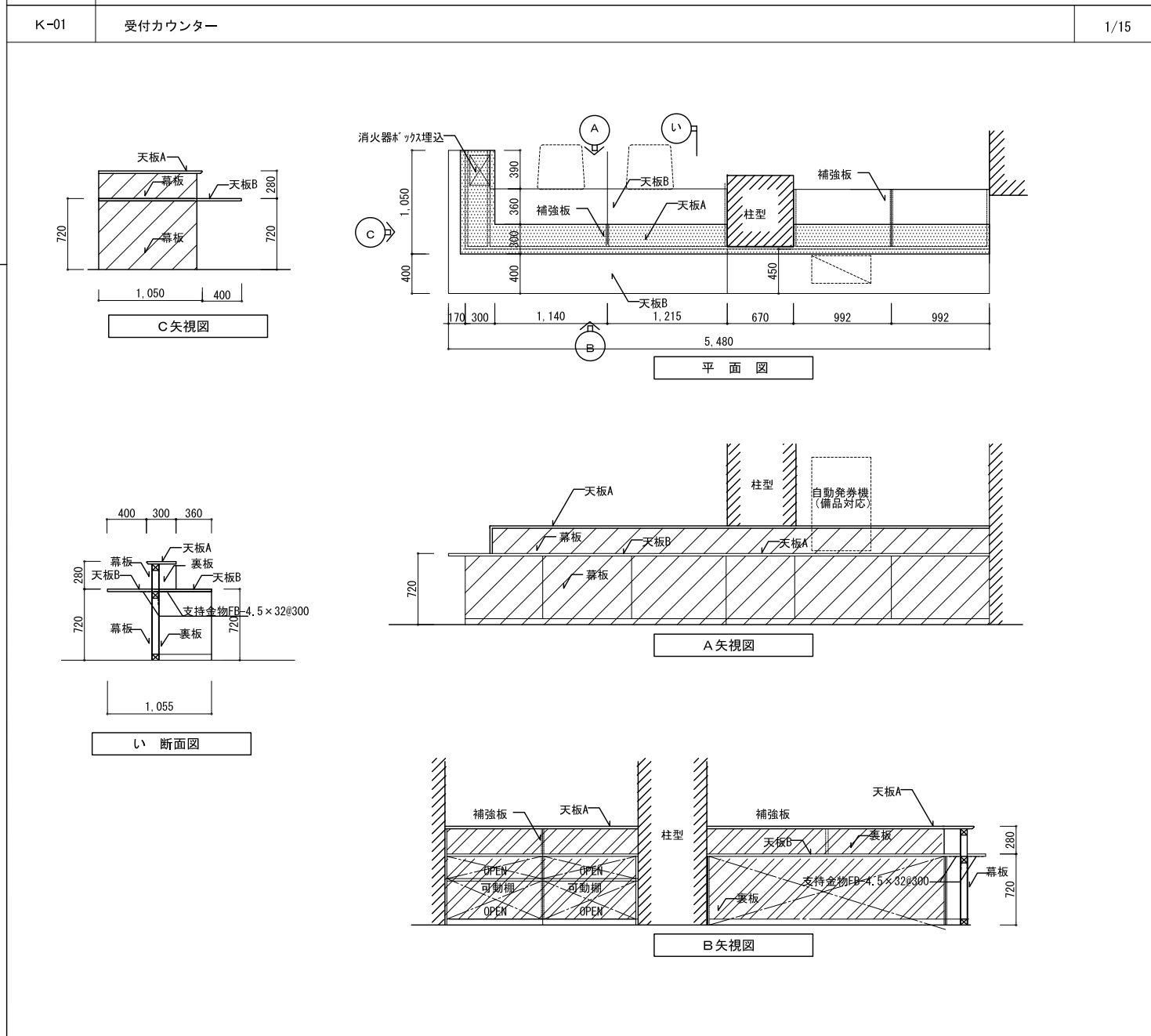
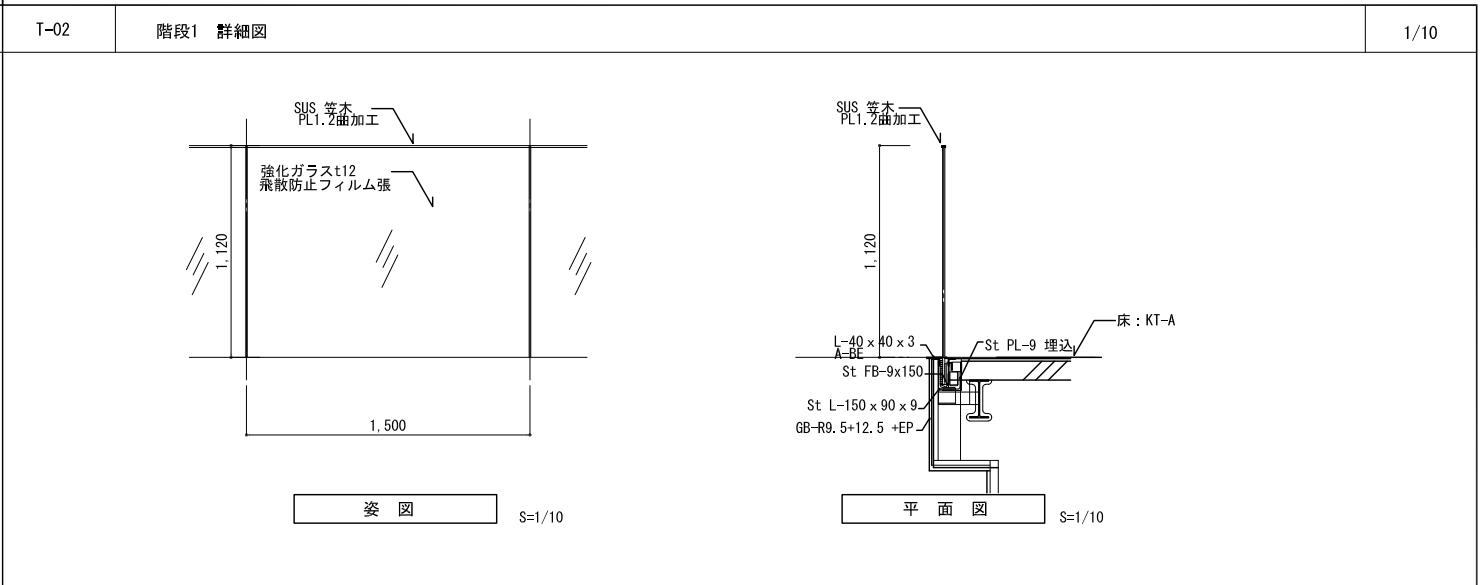
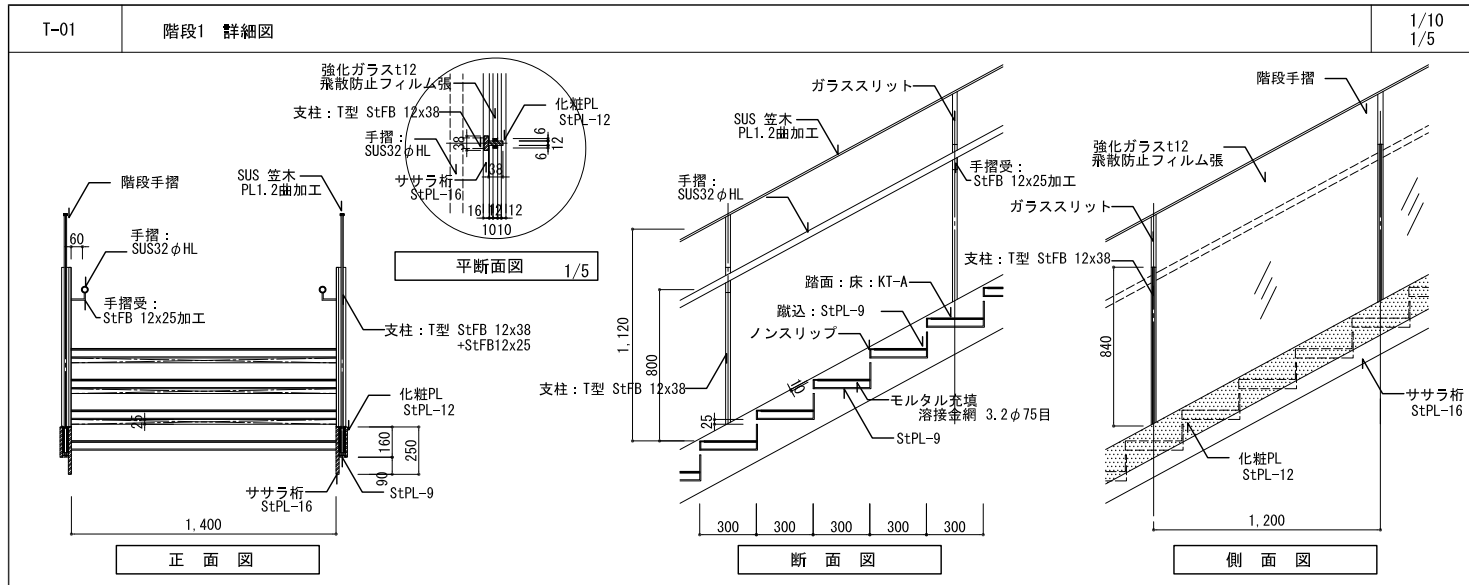


金属ハシ 縦種 AL-PL2.0 加工 F-BE 金属材料塗装
種 SUS 50φ



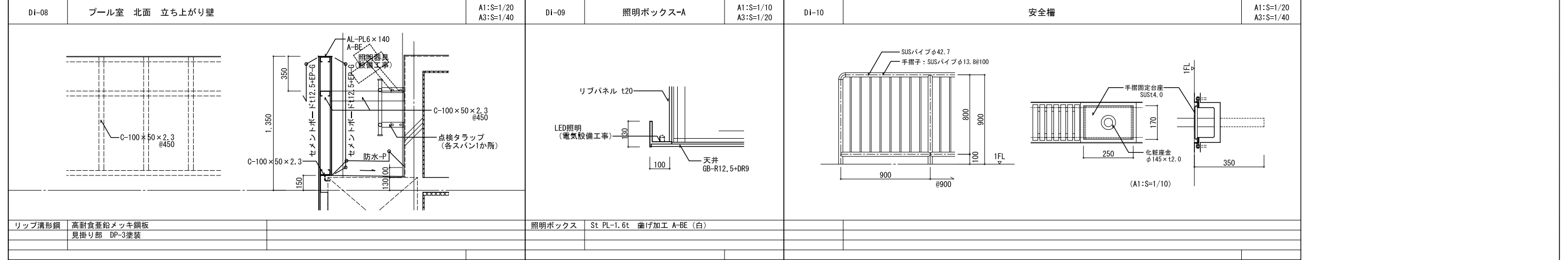
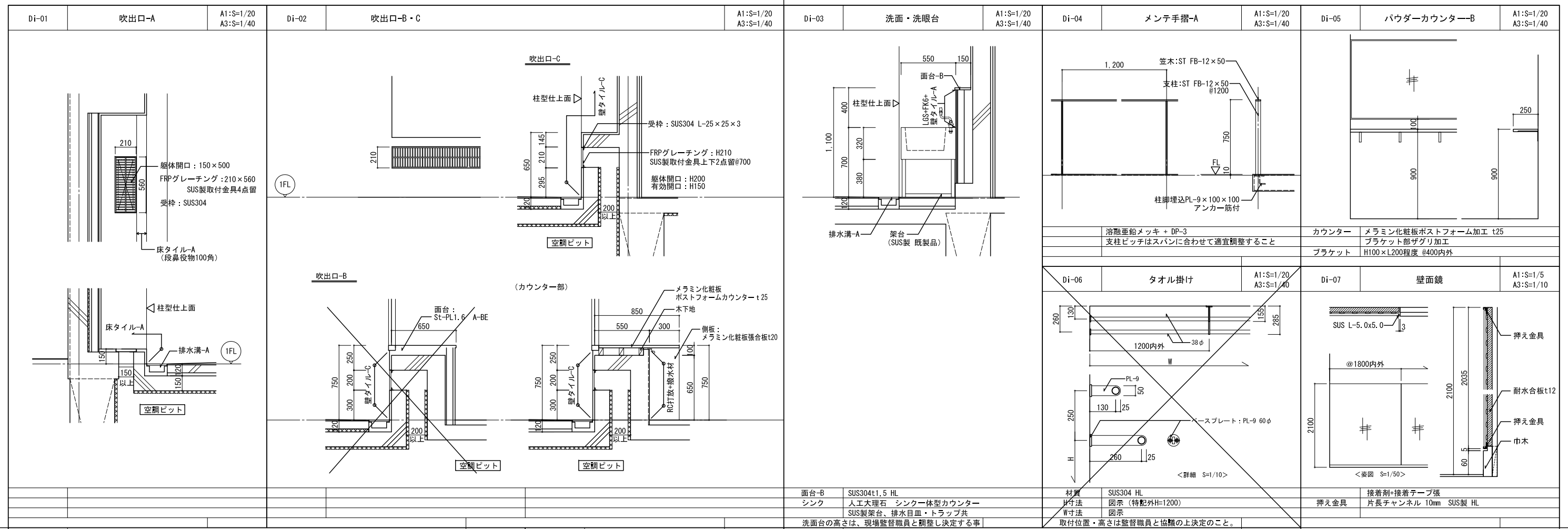
鉄部見掛り 溶融亜鉛メッキ
支柱・耐風梁・ブレースは構造図による (溶融亜鉛メッキ)
ルーバー材 アルミ押出型材 への字型 80x70 #125 シルバーアルマイト

株式会社東畑建築事務所 TOHATA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.	設計番号 20170253	作成日 2021.03	種別/備考	工事名称 余熱利用施設建設工事	図面番号
	一級建築士 No. 286010	担当 小柳 英治		図面名称 部分詳細図 その3 縮尺 A1: 1/10 A3: 1/20	A-039

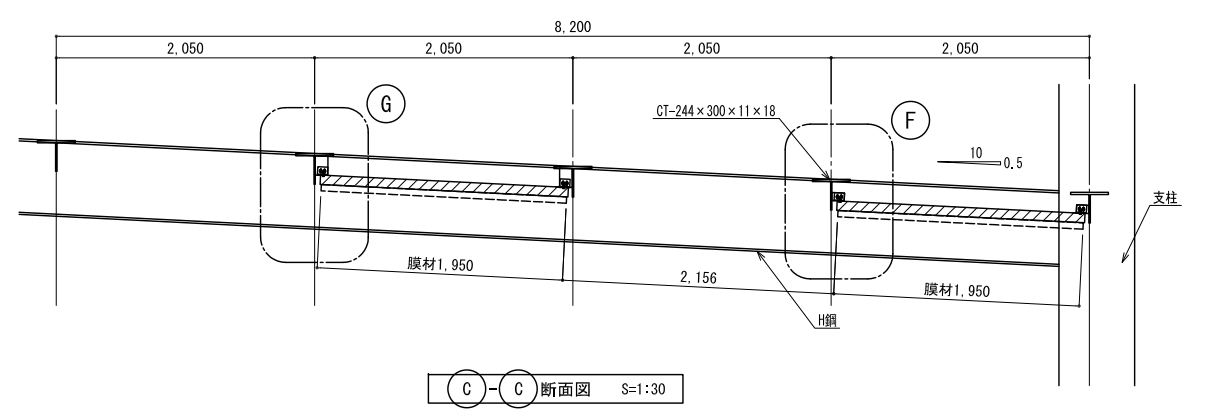
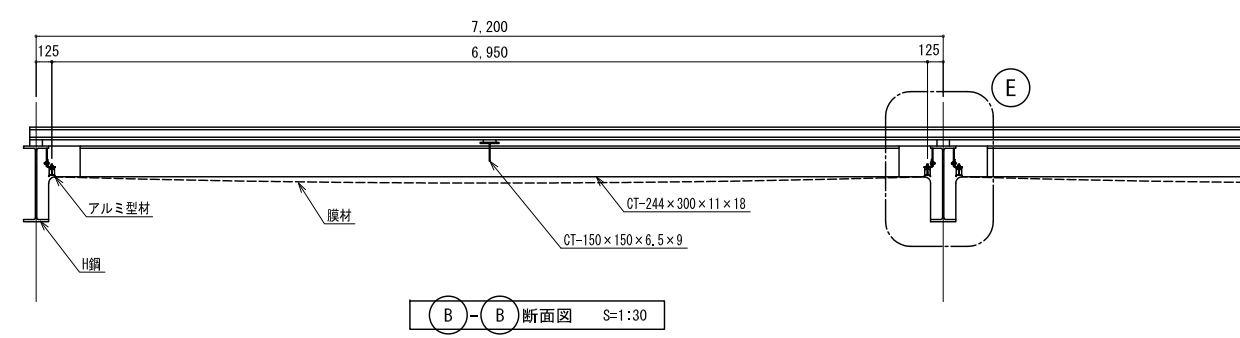
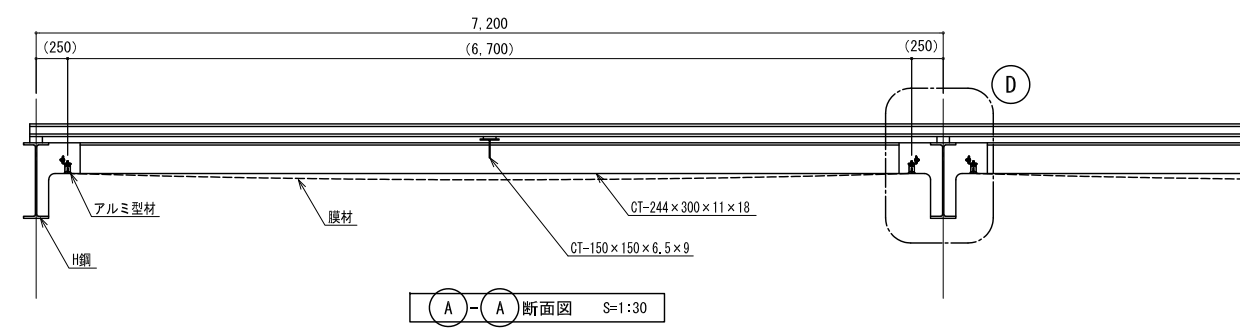
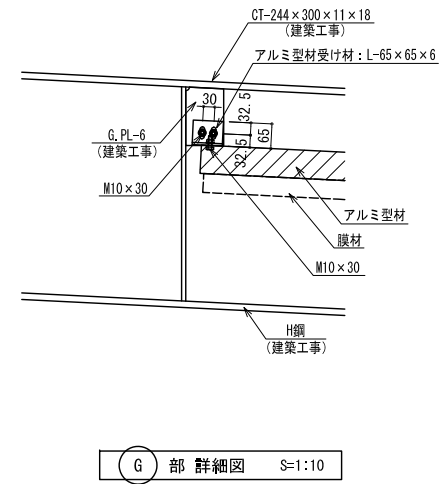
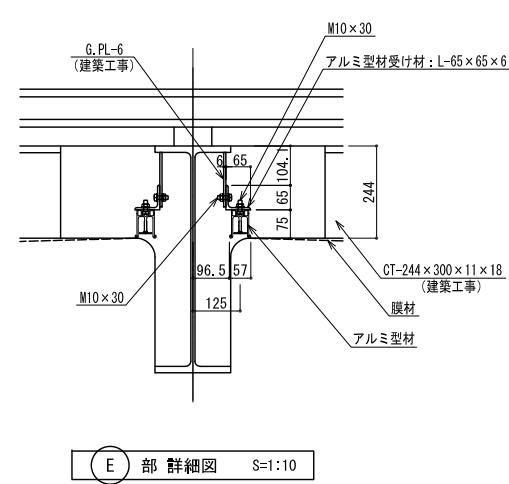
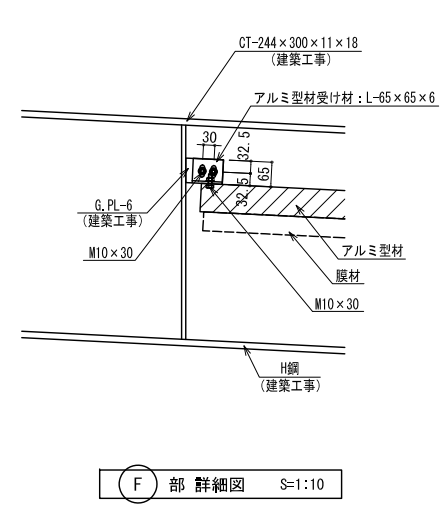
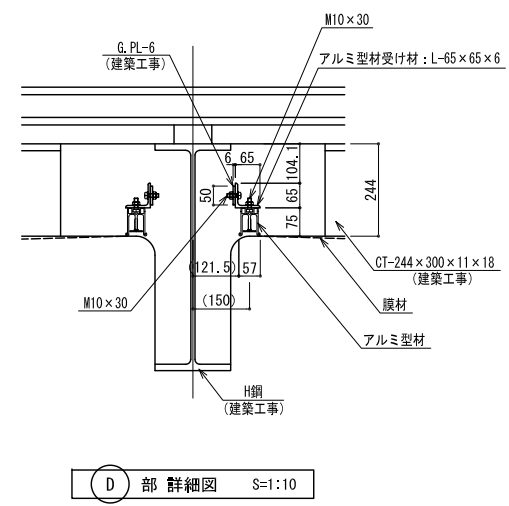
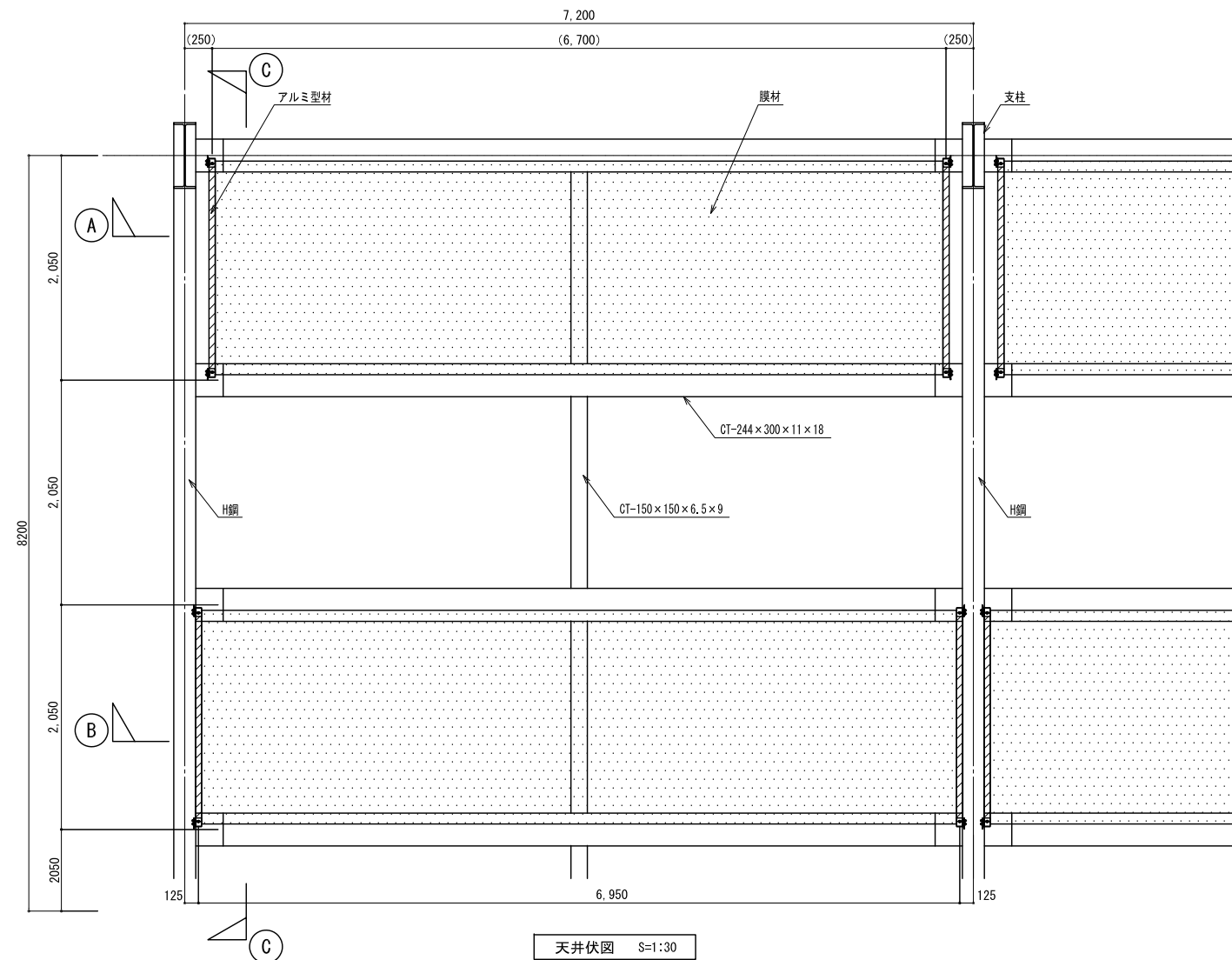


天板B	メラミンポストフォーム	補強板、可動欄板	両面メラミンパーティクルボード t20
天板B	メラミンポストフォーム		
幕板	合板 t9+FK6の上化粧塩ビシート張り		
幕板	ランバーコア t15 ポリ合板張り		

株式会社東畑建築事務所 TOHATA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.	設計番号	20170253	作成日	2021.03	種別/備考	工事名称 余熱利用施設建設工事	図面番号 A-040
	一級建築士 No.	286010	担当				
	小柳 英治						



Di-01	吹出口-A	A1:S=1/20 A3:S=1/40	Di-02	吹出口-B・C	A1:S=1/20 A3:S=1/40	Di-03	洗面・洗眼台	A1:S=1/20 A3:S=1/40	Di-04	メンテ手摺-A	A1:S=1/20 A3:S=1/40	Di-05	パウダーカウンター-B	A1:S=1/20 A3:S=1/40
Di-06	タオル掛け	A1:S=1/20 A3:S=1/40	Di-07	壁面鏡	A1:S=1/5 A3:S=1/10	Di-08	プール室 北面 立ち上がり壁	A1:S=1/20 A3:S=1/40	Di-09	照明ボックス-A	A1:S=1/10 A3:S=1/20	Di-10	安全柵	A1:S=1/20 A3:S=1/40
面台-B	SUS304t1.5 HL		面台	St-PL1.6 A-BE		リッパ形鋼	高耐食亜鉛メッキ鋼板		照明ボックス	St PL-1.6t 曲げ加工 A-BE (白)		リッパ形鋼	高耐食亜鉛メッキ鋼板	
シンク	人工大理石 シンク一体型カウンター		面台	St-PL1.6 A-BE		見掛り部	DP-3塗装		LED照明	(電気設備工事)		見掛り部	DP-3塗装	
SUS製架台、排水目皿・トラップ共			側板	メラミン化粧板張合板t20					天井	GB-R12.5+DR9				
洗面台の高さは、現場監督職員と調整し決定する事			RC打放+排水材											
取付位置・高さは監督職員と協議の上決定のこと。			メタリック											



株式会社東畑建築事務所 TOHATA ARCHITECTS & ENGINEERS, INC.	設計番号 20170253	作成日 2021.03	種別/備考	工事名称 余熱利用施設建設工事	図面番号 A-042
	一級建築士 NO. 286010	担当 小柳 英治		図面名称 部分詳細図 その6	
				縮尺 A1: 1/10, 30 A3: 1/20, 60	